

第3次高知県犯罪のない安全安心まちづくり推進計画 数値目標等対照

1. 目標数値

重点目標			
取組事項	平成27年度	平成33年度	意見等※
重点目標1・・・ 県民の防犯意識を高め、県民、事業者、地域活動団体による自主的な活動を促進する			
あんしんFメール登録者数 担当課: 少年女性安全対策課	12,130名	14,500名	各種会合で、警察の安全情報を知る方法の問い合わせがあることから、引き続きFメールの広報を行う。 関心のある県民は既に登録済みであることから、新規登録者数の大幅な増加は見込めない。
防犯活動団体の活動内容等の公表件数 担当課: 県民生活・男女共同参画課	55件	100件	公表されていない既存の防犯活動団体及び新規の防犯活動団体への働きかけを継続的に行い、年間9件の新規公表を目標として、5か年で45件の新規公表、累計100件の公表を目指す。
青色回転灯装備車両運行団体数 担当課: 生活安全企画課	88団体	削除	第2次推進計画期間において、青色回転灯装備車両の運行団体数は増加した。しかし、各団体における活動員の減少などによる活動の低下もあり、運行団体数の増加がパトロールの充実に必ずしもつながっていない。 今後は、効果的な活動のための情報提供や活性化に取り組むことで、運行団体のパトロールの充実を図る必要がある。 このため、この項目を削除する。
重点目標3・・・ 高齢者、障害者、女性、子どもの安全を確保する			
危機管理マニュアルの策定率 ①公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校(特別支援学校を含む) ②私立小学校、中学校、高等学校(特別支援学校を含む) ③保育所、私立幼稚園、(H27～)認定こども園 担当課: ①学校安全対策課、②私学・大学支援課、③幼保支援課	100.0%	100.0%	学校保健安全法で策定が義務づけられており、より実効性のあるものとするため、見直しも含め、継続して確認していくことが必要である。 マニュアル作成・見直しの必要性が十分に理解されず、未策定の保育所があるため、平成33年度までに策定率100%を目指す。
学校の安全点検の実施率 ①公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校(特別支援学校を含む) ②私立小学校、中学校、高等学校(特別支援学校を含む) ③保育所、私立幼稚園、(H27～)認定こども園 担当課: ①学校安全対策課、②私学・大学支援課、③幼保支援課	100.0%	100.0%	学校保健安全法で点検実施が義務づけられており、安全安心な学校環境にするため、継続して確認していくことが必要である。 未実施の保育所が5園あるため、平成33年度までに、実施率100%を目指す。
地域ボランティアによる校内外の巡回等実施率(小学校のみ) 担当課: 学校安全対策課	100.0%	100.0%	これまでの取組により、実施率は100%となったが、地域に定着したものとしていくためには、引き続き確認作業が必要である。
通学路の安全点検の実施率 ①公立小学校 ②私立小学校 担当課: ①学校安全対策課、②私学・大学支援課	95.0%	100.0%	様々な事件・事故から、児童生徒の安全を守るためにも引き続きの啓発活動が必要。 児童が広範囲から通学するという特性から、保護者等との連携が難しい。このため、学校としての実施が困難。 各保護者において行うよう注意喚起を行うことが現実的な対応。
	0.0%	削除	

2. 状況確認指標

重点目標		
取組事項	現状値(平成27年度)	意見等
重点目標1・・・ 県民の防犯意識を高め、県民、事業者、地域活動団体による自主的な活動を促進する		
設立または活動を支援した防犯活動団体数 <small>担当課:生活安全企画課</small>	29団体	防犯活動団体の設立及び支援に引き続き取り組むため、継続する。
若い世代による地域活動団体数 <small>担当課:生活安全企画課</small>	7団体	若い世代による防犯活動の促進に引き続き取り組むため、継続する。
重点目標2・・・ 県民、事業者、地域活動団体、行政の連携を進める		
シンボルマーク及び標語の利用団体数 <small>担当課:県民生活・男女共同参画課</small>	42団体	シンボルマーク入り防犯ベストの配付等を通じて、県民に広くシンボルマーク及び標語をアピールし、利用団体の更なる拡充を目指す。
地域における推進体制設置数 <small>担当課:県民生活・男女共同参画課</small>	243団体	各地域の防犯ボランティアが主催するイベントへの参加、推進会議総会への防犯ボランティア等の参加呼びかけ等を継続して実施し、推進体制の設置数の増加につなげる。
事業者、地域活動団体と締結した協定数 <small>担当課:県民生活・男女共同参画課</small>	37件	自動車業、警備業、建築関係、小売業関係等と多岐にわたる団体等と協定を締結しており、県下の安全安心まちづくりの気運醸成に寄与していると認められる。今後も広報啓発活動を継続的に行うことにより、協定締結団体の増加につなげる。
高知県安全安心まちづくり推進会議構成員数 <small>担当課:県民生活・男女共同参画課</small>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">追加</div> 87団体・個人	構成員数は推進会議発足当時と比較して大幅に増加したものの、近年の新規加入構成員数は微増にとどまっている。構成員の拡充は、安全安心なまちづくり推進のために継続して実施する必要がある取組であることから、状況確認指標として追加する。
防犯活動団体と合同パトロールを実施した回数 <small>担当課:生活安全企画課</small>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">削除</div> 384団体	防犯活動団体の自燃的活動を促進することを目標としており、今後は合同パトロールの推進から情報提供の推進に活動を移行するため、合同パトロールの実施数を確認する必要がなくなるので、この項目を削除するものである。

重点目標		
取組事項	現状値(平成27年度)	意見等
重点目標3・・・ 高齢者、障害者、女性、子どもの安全を確保する		
子どもに対する防犯教室や防犯に関する訓練の実施校数 ①公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校(特別支援学校を含む) ②私立小学校、中学校、高等学校(特別支援学校を含む) ③保育所、私立幼稚園、(H27～)認定こども園 担当課:①学校安全対策課、②私学・大学支援課、③幼保支援課	249/387校 3/18校 252/297園	防犯対策の取組状況把握のため、継続実施していく。 必要性が十分に理解されず、未実施の施設があるため、全園実施を目指して取組を継続する。
教職員に対する防犯に関する訓練や研修等の実施校数 ①公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校(特別支援学校を含む) ②私立小学校、中学校、高等学校(特別支援学校を含む) ③保育所、私立幼稚園、(H27～)認定こども園 担当課:①学校安全対策課、②私学・大学支援課、③幼保支援課	105/387校 9/18校 226/297園	防犯対策の取組状況把握のため、継続実施していく。 必要性が十分に理解されず、また実施方法や内容についての知識不足により、未実施の施設があるため、全園実施を目指して取組を継続する。
安全マップの作成校数 ①公立小学校 ②私立小学校 担当課:①学校安全対策課、②私学・大学支援課	81/196校 削除 0/1校	児童が広範囲から通学するという特性から、保護者等との連携が難しい。このため、学校としての実施が困難。 各保護者において行うよう注意喚起を行うことが現実的な対応。
高齢者を対象とする防犯教室の開催回数 担当課:生活安全企画課	630件	高齢者を対象とする防犯教室の開催への取組を継続するため、継続する。
従業員研修の中で防犯教育を行った観光事業者数割合 修正 担当課:観光政策課	25%	主要観光施設入込状況確認施設に対して、取組み依頼や調査を実施しているため、数ではなく割合が適切(現在も数となっているが割合を報告)

重点目標		
取組事項	現状値(平成27年度)	意見等
重点目標4・・・ 犯罪の防止に配慮した生活環境の整備を促進する		
県管理道路の自転車・歩行者道設置延長キロ数 担当課:道路課	左 : 380.908km 右 : 436.214km	特になし
道路照明灯の設置基数 担当課:道路課	16, 193基	特になし
ロードボランティアの登録団体数 担当課:道路課	削除 654団体 11, 548人	取組内容をボランティアによる美化作業から、道路管理者による道路維持・植栽管理の実施に変更するため、指標から削除する。
地域に委託している道路維持(草刈り等) 担当課:道路課	削除 29市町村 延長 1, 127. 73km	取組内容をボランティアによる美化作業から、道路管理者による道路維持・植栽管理の実施に変更するため、指標から削除する。
住宅の防犯に関するリーフレットの配布数 担当課:住宅課、建築指導課、県民生活・男女共同参画課	【建築確認時(県・本庁)】 共同住宅用 : 30件 戸建住宅用 : 628件 【長期優良住宅認定時(県)】 戸建住宅用 : 218件	関係機関・企業と協力し、新築住宅購入者に対するリーフレット配布を継続的に実施して、防犯指針の広報・啓発を行い、防犯に配慮した住宅の普及につなげる。 そのまま、住宅対象の侵入盗の減少に直結するものではないが、防犯意識の向上を促すために継続して取り組む必要がある。
深夜スーパーにおける防犯設備の整備率 担当課:生活安全企画課	防犯ベル配備 : 83% 削除 カラーボール配備:87. 7%	これまでの取組により、防犯ベル、カラーボール等の配備が浸透してきており、状況確認を継続して行う必要がなくなったことから、この項目を削除するものである。